



稗田小だより

平成29年 12月22日号



2017年が暮れていきます

今年も残すところ9日となりました。明日からは、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。

保護者の皆様、地域の皆様には4月から今日まで、たくさんのご支援とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



自主学習の力を信じて



アメリカ、デューク大学のキャシー・デビッドソンさんが語った「今の小学生たちの約65%は、大学卒業時には今はまだない仕事につくでしょう。」という話がこの数年、注目を集めています。パソコンやインターネット等の急速な普及により、社会のシステムが大きく変わり、職業の種類も急速に変化をしてくれていることから、予測されたことです。

つまり私たちは、こうした事態にも対応できる子どもの力を見据えて指導を行っていかねばならないということです。では、どんな力が必要なのでしょう？今ある知識をしっかりと覚えておくだけでは対応できません。そのためには、求められる力に応じ、自分の課題を改善したり、優れた点を伸ばしたりしていきける「自己成長力」が重要であるといわれています。そして、その力を育てるのに、自主学習ノートが有効であるといわれているのです。

本校でも、子どもたちの中に、自主学習はずいぶんと定着しています。今年度は今日までに、346冊のノートが提出されています。そのうち花丸ノートは90冊です。子どもたちは、とてもがんばっています。そうした子どもたちに寄り添うとともに社会の変化に対応できる力をつけられるよう、自主学習の取組効果を信じ、その充実を図っていくことの必要性を強く感じています。

明日から冬休みに入りますが、子どもたちは自主学習に取り組むことと思います。丁寧に計画的に進められるよう、応援をお願いします。

1年の計は元旦にあり



年末年始は、子どもたちの学びの場がたくさんあります。「大晦日について」「餅つきについて」「おせちについて」「門松について」「お年玉について」など、この機会に調べて自主学習ノートにまとめ、知識を深めてほしいと思います。

また、「1年の計は元旦にあり」というように、2018年の目標を立てて、清々しい気持ちで新しい年をスタートさせてください。

では、よいお年をお迎えください。